

第 32 回環境情報科学 学術研究論文発表会

ー 同時開催 第 15 回環境情報科学ポスターセッション ー

日 時： 2018 年 12 月 17 日（月） 8：55～19：00（受付開始 8：30）

会 場： 日本大学会館大講堂ほか

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 8 番 24 号

TEL. 03-5275-8110

内 容： ・環境科学に関する研究論文発表 57 題（内 口頭発表 50 題・ポスター発表 7 題）

・環境科学に関するポスターセッション約 50 題

・会員からの公募による企画セッション（4 セッション）：

①再生エネルギー100%社会の実現に向けてー世界の動向と日本の取り組みー

②SDGs の地域社会との接合可能性を探るーマルチステイクホルダー・パートナーシップの観点から

③海洋資源開発における海洋環境影響評価

④アジア地域の持続可能な社会形成の法政策制度とその社会実装に向けてーCCS を事例としてー

・一般公開シンポジウム「第 5 次環境基本計画の策定等を踏まえた持続可能な開発目標（SDGs）の達成への取組と環境研究からの貢献」

・研究者交流会（優秀ポスターの表彰ほか）

参加費：正会員・賛助会員 2,000 円 準会員 1,000 円 非会員一般 3,000 円 非会員学生 1,500 円

（ただし シンポジウムのみの参加は参加費無料。その場合、開場受付 14：45～）

※研究者交流会参加費（希望者のみ）：

正会員・賛助会員 3,000 円 準会員 2,000 円 非会員一般 4,000 円 非会員学生 2,500 円

◆問合せ先（事前申込不要）◆

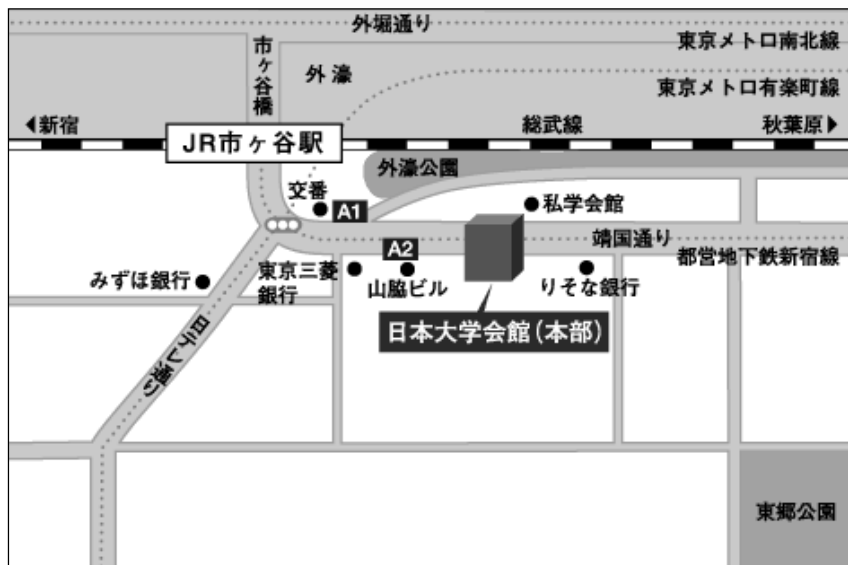
一般社団法人環境情報科学センター 事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-2-7 いちご九段三丁目ビル

TEL: 03-3265-3916 FAX: 03-3234-5407 E-mail: member-jimukyoku@ceis.or.jp

URL: <http://www.ceis.or.jp/>

◆会場地図◆



（日本大学ホームページより転載）

【交通】

JR 市ヶ谷駅下車 徒歩 2 分、東京メトロ・都営地下鉄 市ヶ谷駅下車 徒歩 2 分

第32回 環境情報科学 学術研究論文発表会 全体プログラム

※収容人数

	A会場(大講堂) ※約200名	B会場(大講堂) ※約100名	C会場(204会議室) ※約30名	D会場(203会議室) ※約40名	E会場(201会議室) ※約20名
8:30	受付開始				
8:55	開会挨拶(論文審査委員長)				
9:00	論文発表		論文発表	論文発表	論文発表
9:15	<論文口頭発表> 発表セッション① 「都市・地域環境」 9:00～10:30		<論文口頭発表> 発表セッション② 「景観」 9:00～10:00	<論文口頭発表> 発表セッション⑥ 「環境教育・市民参加」 9:00～10:30	<論文口頭発表> 発表セッション⑦ 「レクリエーション・観光」 9:00～10:00
9:30					
9:45			論文発表		論文発表
10:00			<論文口頭発表> 発表セッション③ 「気候変動・エネルギー」 10:00～11:00		<論文口頭発表> 発表セッション⑧ 「環境心理」 10:00～12:00
10:15					
10:30					
10:45					
11:00	企画セッション	ポスター発表・ポスターセッション	論文発表	企画セッション	
11:15	企画セッション①		<論文口頭発表> 発表セッション④ 「地域・制度設計」 11:00～12:30	企画セッション③	
11:30	「再生エネルギー100%社会の実現に向けてー世界の動向と日本の取り組みー」			「海洋資源開発における海洋環境影響評価」	
11:45					
12:00	11:00～12:30	○論文ポスター発表(7題)		11:00～12:30	
12:15		○環境情報科学ポスターセッション(約50題)			
12:30		*****			
12:45		※質疑応答:11:45～13:45			
13:00		※ポスター展示時間: 11:00～14:30			
13:15	企画セッション		論文発表	企画セッション	論文発表
13:30	企画セッション②		<論文口頭発表> 発表セッション⑤ 「生態系・水環境・熱環境」 13:15～14:45	企画セッション④	<論文口頭発表> 発表セッション⑨ 「地域・農村」 13:15～14:45
13:45	「SDGsの地域社会との接合可能性を探るーマルチステイクホルダー・パートナーシップの観点からー」			「アジア地域の持続可能な社会形成の法政策制度とその社会実装に向けてーCCSを事例としてー」	
14:00					
14:15	13:15～14:45			13:15～14:45	
14:30					
14:45					
15:00	シンポジウム				
15:15					
15:30	一般公開シンポジウム				
15:45	「第5次環境基本計画の策定等を踏まえた持続可能な開発目標				
16:00	(SDGs)の達成への取組と環境研究からの貢献」				
16:15					
16:30	15:00～17:15				
16:45					
17:00					
17:15					
17:30					
17:45					
18:00		研究者交流会 (優秀ポスター発表等)			
18:15		17:30～19:00			
18:30					
18:45					

論文発表に関するセッションプログラム

※当日の座長は変更になる場合もあります。

1) 口頭発表

発表セッション①「都市・地域環境」＜A会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
9:00～9:15	遺伝資源に関するデジタル配列情報の利用に係る各国の主張とその考察	小林邦彦	総合地球環境学研究所 研究部	pp. 303～308	錦澤滋雄 (東京工業大学環境・社会理工学院)
9:15～9:30	Fiscal Capacity and Regulatory Enforcement Action on Haze Pollution: Empirical Evidence from Indonesia	Firman Tatariyanto	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科	pp. 1～6	
9:30～9:45	インドネシアの国立公園におけるガバナンスによる森林保全効果	高橋 進	共栄大学 教育学部	pp. 7～12	
9:45～10:00	建築物の年代間での同一性判定を用いた東京都市圏における更新量の推計	朝隈友哉	名古屋大学大学院環境学研究科	pp. 13～18	村野昭人 (東洋大学理工学部)
10:00～10:15	中国の都市レベルのCO2排出構造の分析と政策的評価	邱 聖娟	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科	pp. 19～24	
10:15～10:30	サステナビリティ報告書におけるSDGs記載の課題：統合的アプローチによる考察	小坂真理	慶應義塾大学政策・メディア研究科	pp. 25～30	

発表セッション②「景観」＜C会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
9:00～9:15	The Spatial Feature of Changchun Garden from the Perspective of the Disposition of Architecture, Hills and Water	胡 嘉誠	千葉大学大学院園芸学研究科	pp. 31～36	村上曉信 (筑波大学システム情報系)
9:15～9:30	街路空間における植栽がアイストップと景観形成に及ぼす効果に関する研究	中井朋子	フリーランス	pp. 37～42	
9:30～9:45	はみ出し喫煙をもたらす喫煙所の特徴	谷下雅義	中央大学理工学部	pp. 43～48	朝日ちさと (首都大学東京都市環境学部都市政策科学科)
9:45～10:00	旧鉱山まちの小規模集落明延における景観の継承課題に関する研究	大平和弘	兵庫県立人と自然の博物館	pp. 49～54	

発表セッション③「気候変動・エネルギー」＜C会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
10:00～10:15	Taiwan's Nuclear Power Phase-out Decision-Making Process During the Energy Transition Pathway: From a Multi-level Perspective	陳 奕均	京都大学大学院地球環境学舎	pp. 55～60	平野勇二郎 (国立環境研究所)
10:15～10:30	気候変動に対する脆弱性についての概念整理とそれにもとづく指標特定スキーム	渡邊 学	(株) イー・コンザル	pp. 61～66	
10:30～10:45	森林資源調査による小規模バイオマス発電プロジェクトの可能性	高田秀之	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	pp. 67～72	本下晶晴 (産業技術総合研究所)
10:45～11:00	環境・社会的条件を考慮した地熱導入ポテンシャル評価	長島 匠	東京工業大学 環境・社会理工学院	pp. 73～78	

発表セッション④「地域・制度設計」＜C会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
11:00～11:15	個人の意見変化に着目した熟議デザインの評価	竹内彩乃	東邦大学理学部生命圏環境科学科	pp. 79～82	吉田好邦 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)
11:15～11:30	就労継続支援にもとづく農福連携の現状―岡山県と大分県を事例に―	本田恭子	岡山大学大学院環境生命科学研究科	pp. 257～262	
11:30～11:45	契約方式による民有緑地公開制度の運用実態と市町村の今後の方針に関する研究	森山雅大	三重大学大学院工学研究科	pp. 89～94	

発表セッション④「地域・制度設計」＜C会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
11:45～12:00	産直ビジネスにおけるプラットフォーム化の動きとその設計	眞鍋邦大	神戸大学大学院農学研究科	pp. 95～100	松岡俊二 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科)
12:00～12:15	インドネシアの気候変動緩和プロジェクト実施に係る国内関連制度上の課題：JCMを題材に	市原 純	(公財) 地球環境戦略研究機関	pp. 101～106	
12:15～12:30	野生動物の再導入実施自治体における住民意識の類型化の試み	高橋正弘	大正大学人間学部	pp. 107～112	

発表セッション⑤「生態系・水環境・熱環境」＜C会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
13:15～13:30	港北ニュータウンの保全湿地に移入されたニホンアカガエル(Rana japonica) 個体群の定着状況と緑地環境条件の把握	横田樹広	東京都市大学 環境学部	pp. 113～118	黒田貴綱 (日本大学生物資源科学部)
13:30～13:45	暑熱環境下における空間利用の違いによる人体生理・心理反応の評価に関する研究	三坂育正	日本工業大学	pp. 119～124	
13:45～14:00	全地球カメラ, Google Street View, Digital Surface Modelによる天空率測定	Yuhwan SEO	千葉大学大学院園芸学研究科	pp. 125～130	
14:00～14:15	大阪府内社寺林のコジイおよびアラカシの衰退と土壌pHとの関係	伊藤和男	大阪府立大学高専	pp. 309～312	三原真智人 (東京農業大学地域環境科学部)
14:15～14:30	流下距離と運搬距離に着目した農業用水路でのイシガイ類の繁殖特性	古川 豊	福島県いわき農林事務所	pp. 131～136	
14:30～14:45	東京都内の表層水に含まれる薬剤耐性菌に関する調査～薬剤耐性の傾向と分布から見えてくる現状～	蜂谷真基	中央大学商学部	pp. 313～316	

発表セッション⑥「環境教育・市民参加」＜D会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
9:00～9:15	テクノ・ネット依存症傾向に伴う悪影響と新型うつ傾向への予防策の縦断研究	坂部創一	創価大学理工学部	pp. 137～142	高橋正弘 (大正大学人間環境学科)
9:15～9:30	自然体験型環境教育のためのバリアフリー教材に関する研究	山口雪子	岡山短期大学 幼児教育学科	pp. 317～322	
9:30～9:45	バングラデシュ・クルナ市の小中学校におけるウェイスト・ピッカーと廃棄物管理をテーマとした環境教育プログラムの開発と児童・生徒の学習理解度に関する考察	佐藤秀樹	(公社) 日本環境教育フォーラム	pp. 323～328	
9:45～10:00	ソシマヤマネコの交通事故対策をめぐるボランティア活動と環境教育的意義について	本田裕子	大正大学人間学部	pp. 329～334	大塚佳臣 (東洋大学総合情報学部)
10:00～10:15	スクールエコセンター設置を伴う環境教育プログラムの実施と生徒の意識・行動	松本万里子	京都大学大学院地球環境学舎	pp. 143～148	
10:15～10:30	生活環境圏のCO2濃度データを利用した環境教育プログラムの開発とその教育効果	高木祥太	名古屋産業大学大学院環境マネジメント研究科	pp. 149～154	

発表セッション⑦「レクリエーション・観光」＜E会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
9:00～9:15	富士登山者による混雑予想カレンダーの利用と混雑回避	山本清龍	東京大学大学院農学生命科学研究科	pp. 155～160	籠 義樹 (麗澤大学経済学部)
9:15～9:30	東日本大震災後の石巻市の来訪者意識にみるダークツーリズムの課題と可能性	佐々木薫子	北海道大学大学院文学研究科	pp. 161～166	
9:30～9:45	ヒヤリハット体験における主因および背景・間接要因の分析に基づく山岳遭難予防策の検討	小林昭裕	専修大学経済学部	pp. 167～172	瀬沼頼子 (昭和女子大学人間社会学部)
9:45～10:00	首都圏近郊都市における民有樹林地の公開イベントに対する来訪者の認識の世代間比較	長原すみれ	千葉大学大学院園芸学研究科	pp. 173～178	

発表セッション⑧「環境心理」＜E会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
10:00～10:15	一般家庭における食品ロスに関する消費者の意識と行動の関連	和田有朗	滋賀県立大学 環境科学部	pp. 179～184	中久保豊彦 (お茶の水女子大学基幹研究院)
10:15～10:30	風力発電事業の計画段階における環境紛争の発生状況と解決要因	安喰基剛	東京工業大学環境・社会理工学院	pp. 185～190	
10:30～10:45	脱炭素社会に対する意識・態度の個人差に関する研究 ～大学生アンケート調査をもとに～	木原浩貴	京都府立大学生命環境科学研究科	pp. 191～196	
10:45～11:00	沿道住民の街路樹の維持管理への参加意欲に影響する要因の構造	川口将武	大阪産業大学デザイン工学部	pp. 197～202	杉本卓也 (千葉商科大学政策情報学部)
11:00～11:15	CCSに対する地域住民の認識－北海道苫小牧市における質問紙調査より－	長岡 篤	東京工業大学環境・社会理工学院	pp. 203～208	
11:15～11:30	南信州における地域独自の環境マネジメントシステムの社会的受容性に関する分析	中村 洋	地球・人間環境フォーラム	pp. 209～214	
11:30～11:45	消費者購買データの統計モデリングによる環境意識とLED照明購買行動の関連性分析	藤野友和	福岡女子大学 国際文理学部	pp. 215～220	藤稿亜矢子 (東洋大学国際観光学部)
11:45～12:00	中古家電製品の購入に対する消費者受容性：持続可能な消費に向けて	文 多美	東京大学大学院工学系研究科	pp. 221～226	

発表セッション⑨「地域・農村」＜E会場＞

発表時間	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	座長
13:15～13:30	式根島浅海域CO2シープに対するダイビング事業者と漁業従事者の認識	氏家萌美	筑波大学生命環境学群	pp. 227～232	長坂貞郎 (日本大学生物資源科学部)
13:30～13:45	地域特性と区会規約の関連性に関する考察	温井達也	(株) プレイスメイキング研究所	pp. 233～238	
13:45～14:00	木曽川上流部における洪水対策の歴史的経緯-猿尾(水制)の築造に注目して	馬場慎一	太栄コンサルティング(株)	pp. 239～244	
14:00～14:15	組織面からみた農業水利環境ストックの継続的な維持管理の要因と課題	新田将之	東京農工大学大学院連合農学研究科	pp. 245～250	笹田勝寛 (日本大学生物資源科学部)
14:15～14:30	山林を中心とした過疎地域における放置資産の所有動向比較	片野洋平	鳥取大学農学部	pp. 251～256	
14:30～14:45	道の駅の運営課題と設置の期待効果～近畿圏の道の駅へのアンケート調査の結果から～	小塚みすず	神戸市立工業高等専門学校	pp. 83～88	

2) ポスター発表

＜B会場＞

発表時間 (ポスター展示時間)	タイトル	筆頭著者	所属	掲載頁	
11:45～13:45 (11:00～14:30)	オーニングによる暑熱緩和および紫外線遮蔽効果の実証的研究	渡邊慎一	大同大学工学部	pp. 263～268	
	デキストマイニングを用いた緑の癒し効果としての感情体験の抽出	古賀和子	千葉大学大学院園芸学研究科	pp. 269～274	
	地方自治体における気候変動適応策の関連部局の認識の可視化	岩見麻子	法政大学・地域研究センター	pp. 275～280	
	未利用パークを燃料とする地域内バイオマス熱供給システムの熱力学的評価	新井颯太	日本工業大学大学院工学研究科	pp. 281～286	
	歩行者から見た街路樹の「枝張り一歩道幅員比」による景観イメージの評価	今西亞友美	近畿大学総合社会学部	pp. 287～290	
	Protected Area Network Act of the Marshall Islands: Analysis on Stakeholders Responses and Capacity Development Needs	小林正典	笹川平和財団海洋政策研究所	pp. 291～296	
	イシガイ類の生息条件に着目した農業用水路の環境構造	菊地朋希	パシフィックコンサルタンツ (株)	pp. 297～302	